

『父の心遣いありがとう』

- ・父が亡くなった日は、休みにしていた。告別式の日も休みの予定で、忌引は一日だけで済んだ。
 - ・土曜日 通夜、日曜日 告別式……参列者思い！
 - ・秋のお彼岸の終わった後で、お寺さん思い！
 - ・北海道物産展が立ち上がった後だった。前日とか初日だったら大混乱だった。
 - ・会社の特別販売期間中で、満中陰志は売り上げに貢献！
 - ・第九の練習日の翌日だった。もし重なっていたら、毎年狙っている皆勤賞がパーだった。
- そして、
- ・暑さ、寒さ……を避けてくれた。

表面的には認知症だったけど、本能的には、娘を助けてくれた。最期の言葉は、「すまんのう」だったし……。

お父さん、本当に、ありがとう!!

『父についた三つの嘘』

お父さんは、とっくに気づいていたと思うけど……。

まずは、私の自転車。お父さんが私のために最後に作ってくれたのは……、あまりに小さく、型も古い白色のミニサイクルで……。がっちり丈夫だけど……、さりげなく店に返した。

そして……、他の店で、希望の大きさの中古を買った。実家に行く時は、手前のブロックに停めて歩いて行った。「必要な時はマンションの自転車を借りている」と言った。ごめん。

次は、私の足の手術。足が悪いことは言っていて、杖を忘れて帰りかけ、「お〜い！ 杖」と言われたことも。

入院して手術した時、父さんに面会に来てもらうことも考えたけど、母さんの時、一人で面会に行こうとして自転車で転倒してケガしたし……。それが怖くて内緒にした。

お父さんの調子もよく、甥が写メールで様子を見せてくれて安心した。おかげで今も人工関

